

俳句

玉井北男 選

だんじりを供の伊勢路や秋高し
 初冬の石鈍寂し風の音
 誘はれて一日を秋に染まりある
 過疎寂し赤い柿の実夕日照る
 七・五・三母なる人の着飾りて
 草刈りし匂ひの中に座しにけり
 落葉ふみ通学の子の長き脚
 跳ね橋の開くメロデイ天高し

川柳

山之内さら枝 選

年の暮れやと寒さが顔を出す
 図書館を出れば弾ける若い声
 齡の順こんな上座にすわらされ
 お隣の町からグムに手が延びる
 どん底で娘らがうれしい灯をくれる

短歌

岡田弘 選

七回忌過ぎたる夫の墓に参り
 又来るからとそつと石なづ
 檜の木に添ひて石落咲きてをり
 花無き庭の緑に映えて
 久々の秋雨あがる朝の庭
 霜月の庭に鶏頭紅く燃ゆ
 紅葉葉の散る小春日和に
 南方にて戦死をしたる兄偲び
 テンニンギクを大切に持つ
 年毎に減る年賀状読みながら
 吾も老いしとしみじみ思ふ
 秋空の下で駆け出す初孫に
 感極まりてレンズも曇りぬ
 山々は薄雲かかりて小雨降り
 見渡す小田は冬枯れの色

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

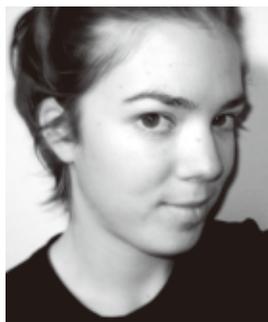
応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-56-5151 内線2128

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.21 エミリー・ワルシュの自己紹介



▲外国語指導助手
 エミリー・ワルシュさん

西条市のみなさん、こんにちは。8月にカナダからやってきましたエミリー・ワルシュです。フランス語を喋る母親と英語を喋る父親というバイリンガルの環境で育てられたので、日本語を習うのに役立つかなと思います。今までの西条滞在期間中は、良いことしか経験していません。今までの西条滞在中は、良いことしか経験していません。日本人の人情味、歓迎そして寛容を十分味わいました。

山や海、たんぼの匂いが大好きで、愛媛の色々なところで写真を撮りながら、自転車でうろうろしている私の姿をもう見た人がいるかも知れません。スポーツが好きなので、来日してから空手を始めました。そして、大学でオペラなど音楽を専攻していましたので、日本ではカラオケがとても人気があるということを知り、とても嬉しく思いました。カラオケに行った時には、フランス語の歌も歌いました！最近太鼓も習い始めましたが、太鼓をたたく時のエネルギーは本当に素晴らしいと思います。

カナダの冬は、時々、気温がマイナス30°Cになりますが、西条はそのような気候ではないと聞いて、とてもよかったと思います。カナダに関する質問があれば、恥ずかしがらずに聞きに来て下さいね。

丹原のALTエミリー・ワルシュでした。

〈訳：アイリーン・リン〉